システム運用手順書

更新日：2021/04/20

## 開発

### 事前確認項目

・目的とゴール

　ーインプットアウトプット、データ整形の仕方を明白にする

・情報管理

　ーカラム名

　ーファイルの命名ルール

　　2021\_04\_19\_01\_scraping\_test\_data.csv

　　2021\_04\_19\_02\_scraping\_test\_data.csv

　　2021\_04\_20\_01\_scraping\_test\_data.csv

・使用する開発手法の選定

・コードレビュー

・DB環境確認

　ー開発環境にてDB接続確認

　ー

・サーバー権限確認

## 運用

### 事前確認項目

・目的とゴール

　ー顧客のニーズと作業の関連性

・担当者

・各担当者の担当範囲とスキル範囲

　ーEC2サーバー管理画面へアクセス権限など

　ー役割分担表の作成

・システム環境の前提知識

　ーソフトウェア・ハードウェアのバージョンやOS情報など

・システムの構成

　ー利用環境、運用環境における「端末」、「ソフトウェア」、「ネットワーク」などの構成情報

・設計書・台帳管理

　ー参照ドキュメントリスト

・アカウント管理

　ー構築されたシステムへのアクセス許可情報

　ー各アカウント権限リスト

・セキュリティ対策

・サーバー監視

　ー稼働状況の可視化モジュール及びその監視基準

・ファイル管理

　ーデータの保存域

　ーユーザー権限ごとにファイルへのアクセスリスト、「書き込み可能」、「読み取り可能」など

・ネットワーク管理

　ーアクセス可能なネット環境の設定など

・電源管理

　ーサーバーの稼働時間

　ーオンオフの手順

・会社の運用ポリシー

　ー手順書などに記載あるか、顧客の同意を得られているか確認する。

### 運用作業の実施

・運用作業の実施レベル

　ー【必須】、【随時】、【必要に応じて】など、作業レベルに応じて実施する作業をリスト化する。

・保守性確認

　ーシステムやソースの更新によってコードの稼働に影響あるかどうか

・可読性

　ー他の担当者が理解し、修正できるようにわかりやすい表現や注釈を用いいてるかどうか

・環境保守

　ーインシデントが発生したときに行うトラブル対応を定める

　ー環境の更新及びライブラリ等のバージョン管理

　ーユーザー管理台帳更新

・メンテナンス管理

　ーメンテナンス期間と行う作業を定める

・仕様書管理

　ー仕様書更新

　ー開発ノート更新

・事象別運用作業

## 引継ぎと移行